

<b>1. 基本情報</b>										
事務事業コード	04050101	事務事業名	図書館運営事業			担当部	教育部			
政策名	04	育み磨きあうまちづくり			担当課	国分図書館				
施策名	05	学習機会の充実			グループ	管理図書グループ				
基本事業名	01	学習環境の整備			電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S 33 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ～ ）				
	款	10 教育費				根拠法令・条例等	図書館法 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則			
	項	06 社会教育費								
	目	08 図書館費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画				
事務種別	一般事務			裁量区分	裁量性中	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

・市内に国分・単人図書館、溝辺・横川・牧園・霧島・福山図書室の2図書館、5図書室が設置されている。公共図書館としての役割を果たすために多様な資料の整備に努め、幅広い年齢層の方たちに応じた資料の提供を行う。  
 また、未所蔵資料に対する購入希望状況、予約の状況等や図書の出版状況(ベストセラーの把握、新聞等の書籍の紹介)等にも目を向けながら購入を進めたり、相互貸借での対応で利用者の要求にこたえ、図書資料の収集、整理、提供等を行う。さらに、図書館施設の維持管理を行う。  
 ・貸出冊数…5冊以内 ・貸出期間…15日以内 ・貸出対象者…市内に住んでる方、市内の学校に通学している方、市内の職場に通勤している方

<b>① 活動指標</b> (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 入館者数	人	281,403	264,409	259,269	261,000	262,000
イ 蔵書冊数	冊	392,996	401,668	407,520	411,000	415,000
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

<b>② 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>③ 対象指標</b> (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ							
ウ							

<b>④ 意図</b> (②対象をどうしたいのか)	<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 欲しい情報を得られる	貸出者数(移動図書館を除く)	人	112,714	110,692	112,104	113,000	114,000
イ	貸出冊数(移動図書館を除く)	冊	387,737	377,815	372,775	375,000	377,000
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

<b>⑥ 基本事業の意図</b> (さらにどのような成果に結びつのか)	<b>⑦ 基本事業の成果指標</b> (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	28	29	27	28	28
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等** (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和33年に市民の学習環境を充実させるため、国分市立図書館が設置された。インターネットなどの新たなメディアを通じ情報の取得が可能となってきており、個人一人ひとりの情報ニーズが多様化している。活字離れが進んでいると言われるが、根強い読書、書籍ファンも多い。利用者から、「図書館(室)の蔵書を増やしてほしい」「開館時間を早めて欲しい」「開館時間を長くしてほしい」「学習室の席を増やしてほしい」等の蔵書、運営方法、施設改善等の要望がある。

**4. 事業費の推移**

事業費 投入量	財源内訳	単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		71	86	67	67
	一般財源	千円		48,943	59,189	48,370	48,324
事業費		千円	0	49,014	59,275	48,437	48,391

**5. 平成25年度の実績及び成果**

**(1) 平成25年度の実績(取組)** <取組内容を数値等により具体的に記載>

・各図書館(室)において、蔵書構成のバランスをとりながら一般図書、児童図書等の収集、整理、提供等を行った。さらに、図書館施設の維持管理を行った。  
 ・県立図書館、県内の公共図書館及び大学図書館等のインターネットによる蔵書検索を行い、貸出の充実や公共図書館相互貸借の推進を図った。  
 ・図書館ボランティアの養成講座を開催し、図書館をより身近に感じてもらえるような活動を行った。  
 ・単人図書館の駐車場の整備及び空調設備改修を行った。

**(2) 平成25年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

入館者数、貸出冊数、は前年度と比較し、若干減少しているが、貸出者数は増加している。また、ホームページの検索件数は増大している。図書館ボランティア養成講座を行うことにより、9名の方が登録され、身近な図書館づくりを進めることができた。単人図書館の駐車場の整備及び空調設備改修を行い、学習環境の充実ができた。

事務事業 コード	04050101	事務 事業名	図書館運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	市民が、欲しい情報を得られることにより、学習しやすい環境が整うことに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を行う機関である。地域の情報の拠点、読書施設、図書資料等各種情報の保存機関、生涯学習の支援施設等として市が実施すべき事業である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある ■ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない	様々な資料構成の中から、図書の配置方法についても工夫し配架を行う。また、リクエスト等を受けることでどのような要求があるのか把握でき、それに伴い資料の購入、相互貸借を行う。また、広報誌・図書館だより等を活用して図書の紹介や行事案内を通じて利用拡大を図る。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	市民が、図書資料等を利用して情報等を得られなくなり、教養と文化の向上に支障が出てくる恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) ■ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	市民の多種多様な要望に応え、現在の運営を維持していくためには、削減は困難である。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	各事務内容を検討し、無駄と思われる部分を省き、効率のよくない部分を改善することで多少の余地がでてくる可能性もある。が、利用者にとっては便利なネット検索、ネット予約等のIT化も人の関わりが必要であり、経費、業務時間等の削減は困難である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	図書館は全ての市民が利用可能であるので公平である。また、図書館法第17条の規定により入館料その他図書資料の利用については無償となっている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 平成26年度の改革改善の内容	月ごとの館内展示を工夫するとともに、図書館ホームページや図書館だより等により各種行事等の情報を発信し、利用促進に努める。また、図書館電算システムについて、更新時期を迎えることから内容検討を行う。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	図書資料の選定にあたっては、図書館にない資料(本等)の購入希望状況、予約の状況等を活用するとともに、図書の出版状況(ベストセラーの把握、新聞等の書籍の紹介)等を参考にした図書資料の確保に努める。図書館システムが更新時期を迎えることから、内容検討を進め、導入を図る。市民が利用しやすい図書館(室)づくりを進める。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									



<b>1. 基本情報</b>						
事務事業コード	04050102	事務事業名	移動図書館運営事業	担当部	教育部	
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	国分図書館	
施策名	05	学習機会の充実		グループ	管理図書グループ	
基本事業名	01	学習環境の整備		電話番号	45-5111	
				内線番号	3052	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 43 年度~)	
	項	06	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ )	
	目	08	図書館費		図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例 同条例施行規則	
事務の区分	自治事務 (法令で義務付けられていない事務)			関連計画	霧島市教育振興基本計画	
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 中	評価区分	標準評価
					評価対象	2次評価

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

図書館から遠隔地にある地域、住宅、団地、小学校等に移動図書館車での図書資料の巡回サービスを実施し、市民の教養と文化の向上を図るための学習環境づくりを支援する。  
巡回箇所82箇所 配本所27箇所  
・貸出冊数 10冊以内 ・貸出期間 1ヶ月以内 (次回巡回日まで)

<b>① 活動指標</b> (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 巡回箇所	箇所	79	82	82	82	82
イ						
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

<b>② 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>③ 対象指標</b> (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
-----------------------------	--------------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 市民	人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ							
ウ							

<b>④ 意図</b> (②対象をどうしたいのか)	<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
---------------------------	--------------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 欲しい情報を得られる	貸出者数 (移動図書館分のみ)	人	9,347	10,007	9,996	10,100	10,200
イ	貸出冊数 (移動図書館分のみ)	冊	43,278	46,926	47,250	47,500	48,000
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

<b>⑥ 基本事業の意図</b> (さらにどのような成果に結びつのか)	<b>⑦ 基本事業の成果指標</b> (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
-------------------------------------	-------------------------------------	----	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	28	29	27	28	28
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等** (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和33年に市民の学習環境を充実させるため国分市立図書館が設置され、その後、昭和43年に移動図書館車を購入し、巡回が始まった。インターネットなどの新たなメディアを通じ情報の取得が可能となってきており、個人一人ひとりの情報ニーズが多様化している。活字離れが進んでいると言われるが、根強い読書、書籍ファンも多い。合併を機に巡回箇所が増えた。小学校では月1回の巡回を児童たちが楽しみに待っている。

**4. 事業費の推移**

事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		3,853	3,677	3,835	3,711
	事業費	千円		0	3,853	3,677	3,835

**5. 平成25年度の実績及び成果**

**(1) 平成25年度の実績 (取組)** <取組内容を数値等により具体的に記載>

図書館から遠隔地にある地域、住宅、団地、小学校等に移動図書館車での図書資料の巡回サービス (巡回箇所 82箇所、配本所 27箇所) を行った。また、巡回場所の見直しを行い、充実を図った。小学校の調べ学習等の要望にも応え、資料の選定・提供を行った。単人図書館の移動図書館車「すずかけ号」の車検整備を行った。

**(2) 平成25年度の成果** <左記の実績 (取組) による成果を記載>

巡回先の利用者の読書傾向等を加味した図書資料の積載などに心がけ、利用者ニーズに配慮した運営に努めた。また、貸出者数はほぼ昨年度なみですが、貸出冊数は若干増加している。移動図書館車の整備を行うことにより、計画的な運行を行うことができた。

事務事業コード	04050102	事務事業名	移動図書館運営事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、欲しい情報を得られることにより、学習しやすい環境が整うことに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在、市内82箇所を巡回している。巡回箇所を増やせば、成果の向上余地もある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事業費のほとんどは燃料費、車両修繕費用、車検費用、運転手の人件費と移動図書館車の維持・運行のための経費である。現時点においてはこれ以上の削減余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	移動図書館も全ての市民が利用可能である。また、図書館法第17条の規定により入館料その他図書資料の利用については無償となっている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 平成26年度の改革改善の内容	貸出冊数や貸出者数を参考にして、利用者を増やすために巡回場所の検討を行う。また、学校においては、学校司書等と連携しながら利用促進に努め、本好きな子どもたちが増えるよう環境整備を進める。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	移動図書館車の維持管理に努める。それぞれの巡回先の利用者の傾向やニーズを踏まえて、図書資料を選択し、利用者や貸出冊数が増えるよう努める。また、図書館を利用したことがない人でも自宅の近くで利用することにより、図書館利用者の拡大に努める。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○						
(2) 総評	国分図書館、隼人図書館から各々移動図書館車を運用し市内82箇所を巡回している。利用者を増やす方策としては、巡回箇所の拡充が必要である。隼人図書館の移動図書館車の運用に若干の余裕があることから、図書館業務の調整を図りながら要員の確保を図っていくことで拡充が図れると思われる。								





<b>1. 基本情報</b>											
事務事業コード	04050104	事務事業名	郷土資料収集事業				担当部	教育部			
						担当課	国分図書館				
政策名	04	育み磨きあいまちづくり				グループ	管理図書グループ				
施策名	05	学習機会の充実				電話番号	45-5111				
基本事業名	01	学習環境の整備				内線番号	3052				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )				
	款	10 教育費					根拠法令・条例等	図書館法、霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則			
	項	06 社会教育費									
	目	08 図書館費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市教育振興基本計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価			

**2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>**

**(1) 事務事業の概要** (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市や鹿児島県に関連する郷土資料・書籍資料等の収集、整理、保管を行い、閲覧、貸出等に供する。

<b>① 活動指標</b> (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 収集した郷土資料冊数	冊数	281	296	283	300	300
イ						
ウ						

**(2) 事務事業の目的**

<b>② 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>③ 対象指標</b> (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ							
ウ							

<b>④ 意図</b> (②対象をどうしたいのか)	<b>⑤ 成果指標</b> (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 郷土資料に触れる機会を増やし、ふるさとを誇りに思う気持ちや愛する心を育てる。	郷土資料の貸出冊数	冊	1,075	1,374	1,342	1,350	1,400
イ							
ウ							

**(3) 上位の基本事業**

<b>⑥ 基本事業の意図</b> (さらにどのような成果に結びつのか)	<b>⑦ 基本事業の成果指標</b> (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 学習しやすい環境が整う	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	28	29	27	28	28
イ							
ウ							

**3. 事務事業の環境変化・市民意見等**

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和33年の国分図書館設置と同時に郷土の歴史的、文化的資料を後世に引き継ぐために事務事業が始まった。  
平成17年の合併による霧島市の誕生に伴い、旧1市6町を対象に、歴史的、文化的資料の収集が始まった。

**4. 事業費の推移**

事業費 財源内訳 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		149	137	125	125
	事業費	千円	0	149	137	125	125

**5. 平成25年度の実績及び成果**

**(1) 平成25年度の実績(取組)** <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成25年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

霧島市や鹿児島県に関連する郷土資料・書籍資料等の充実を図った。大隅国建国1300年に関連した資料の展示コーナーを設置した。郷土資料は禁帯出(原則貸し出しができない)の図書資料が多いため、禁帯出本を市内の図書館、図書室間で相互に貸借し、館(室)内で閲覧できるように継続して行った。

郷土資料の貸出冊数は、ほぼ昨年度なみとなっている。大隅国建国1300年に関連した資料の展示コーナーを設置したことにより、関心が高まった。





事務事業 コード	04050104	事務 事業名	郷土資料収集事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

**9. コストの推移**

(単位:千円)		平成25年度 (決算)	平成26年度 (当初予算)	平成27年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	137	125	125
	消耗品費	128	118	118
	燃料費			
	食料費			
	印刷製本費	9	7	7
	光熱水費			
	修繕料			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
	計	137	125	125
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	137	125	125
	計	137	125	125
補助率	国			
	県			
補助基本額				

**平成25年度補正・流用状況**

当初予算	138
補正予算	0
補正回数 1 回	
補正回数 2 回	
補正回数 3 回	
補正回数 4 回	
補正回数 5 回	
補正回数 6 回	
補正回数 7 回	
補正回数 8 回	
流用・充用	
予算合計	138

**特定財源内訳**

区分	名称	金額
合計		0

1. 基本情報										
事務事業コード	04050201	事務事業名	図書館読書推進事業				担当部	教育部		
						担当課	国分図書館			
政策名	04	育み磨きあいまちづくり				グループ	管理図書グループ			
施策名	05	学習機会の充実				電話番号	45-5111			
基本事業名	02	学習活動の推進				内線番号	3052			
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )			
	款	10 教育費								
	項	06 社会教育費								
	目	08 図書館費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書活動推進計画				
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

多様な読書行事等への参加を通して読書への興味、様々な学習への興味を喚起することにより、学習活動の推進を図る。  
 【開催行事等】  
 ブックスタート、おはなし会、おはなしの部屋、緑陰読書、子ども読書の日、植物採集教室、昆虫採集教室、からくり絵本教室、植物名付け会、図書館だより等の作成、配布等

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 行事の開催回数	回	262	227	199	200	210
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ							
ウ							

  

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 読書に興味を持ってもらう	読書に興味を持った参加者数	人	7,242	7,074	6,785	6,900	7,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 自分のテーマに合った学習機会が得られる	学習活動を行わない理由として、自分のテーマに合った学習機会がないことをあげている市民の割合	%	15	16	14	13	13
イ 自分のテーマに合った学習機会が得られる	学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないことをあげている市民の割合	%	23	22	17	23	23
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	0
		県支出金	千円		0	0	0	0
		地方債	千円		0	0	0	0
		その他	千円		0	0	0	0
		一般財源	千円		682	671	695	695
		事業費	千円		0	682	671	695

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

各種読書推進行事等の開催 ・ブックスタート ・おはなし会、おはなしの部屋 ・夏休み特別講座、緑陰読書 ・おはなし王国等読書まつり ・語り手講座 ・親子読書会 学校図書館、読書ボランティアグループとの連携 図書館だより等の発行	市民(特に乳幼児、小中学生)を対象とした行事等の開催や学校図書館・読書ボランティアとの連携による各種事業及び図書館だより等による広報活動を実施することにより、読書に対する興味・関心の醸成及び読書活動の推進が図られた。また、ブックスタートの活動により、乳幼児の保護者に乳幼児期からの読み聞かせが、赤ちゃんの言葉と心を育むためには大切なことであることが浸透しつつある。
--	--

事務事業 コード	04050201	事務 事業名	図書館読書推進事業	担当部	教育部
				担当課	国分図書館

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	市民が読書に興味を持ってもらうことにより、自分のテーマに合った学習機会が得られることに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	図書館法及び子どもの読書活動の推進に関する法律により、読書推進を自治体が行うことが求められている。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある ■ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない	図書館(室)とボランティアグループ等が連携をとり、読み聞かせ、おはなし会等の活動の場を増やしたり、館内見学等の受け入れにより図書館が身近な施設と感じてもらい、おはなし会などに足を運ぶきっかけを作ることで成果の向上が期待できる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	読書推進活動を廃止、休止した場合、読書離れが進み、教育と文化の向上に支障が出てくる恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) ■ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	事業費は、各行事等の報償費、消耗品費であり、これ以上の削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	必要最低限の企画、運営業務にしか職員は携わっておらず、ほとんどがボランティアの方々の協力を得て事業を実施しているものであり、業務時間の削減余地はない状態である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	読書推進事業の受益者は図書館の利用者、おはなし会等の参加者であるが、すべての市民を対象として呼び掛け、実施しているので、公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <							>	
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
		○	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	各保育園、幼稚園、小中学校や読み聞かせボランティアグループ等との連携を図り、読書推進の取り組みの充実や活動支援に努める。また、ボランティアグループの活性化を図り、読書推進の取り組みの充実を図る。									
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	子どもから大人まで誰もが気軽に本と親しめるように市内7箇所で開催している読書まつり等の内容の充実を努める。また、ブックスタートについては各図書館(室)、ボランティアが一体となって実施し、読み聞かせやおはなし会の情報提供などを行っていく。									

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

